

高級アルミ鋳物門扉電気錠用両錠

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書

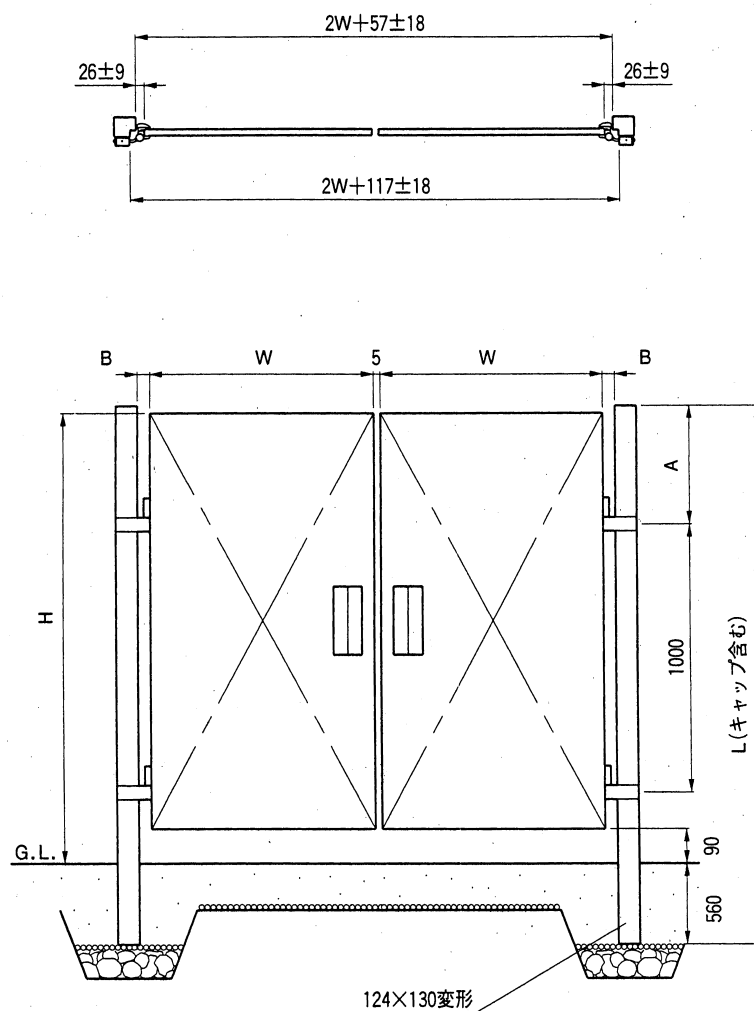
名 称	員 数
両錠本体	1
シリンダー付き落し棒本体	1
落し棒取付ベース	1
落し棒受け	1
戸当り板	1
キー	3
防滴プレート	1
門扉施解錠押ボタン	1
スイッチボックス	1
スイッチボックス(防滴プレート用)	1

名 称	員 数
ヒンジAタイプ	4
ヒンジカバー	4
ヒンジキャップ	4
ヒンジカバー取付ネジM4×20ナベ	4
ヒンジ取付ボルトM8×30フランジボルト	8

名 称	規 格	員 数
シリンダー付落し棒本体取付ネジ	M4×8サラ	4
落し棒取付ベース取付ネジ	M5×10ナベ	2
戸当り板取付ネジ	M5×16サラ	3
錠本体(内)組付ネジ	M4×8サラ	4
錠本体(外)組付ネジ	M4×25サラ	6
取説		1

1. 施工寸法・施工方法

〔施工寸法〕



〔施工方法〕

①間口を決めて下さい。

アルミ門柱内寸法 = $2W + 57$

②40cm四方、深さ70cmの穴を掘り、底に栗石を入れよく突き固めて下さい。

③持送りをセットした門柱を穴に入れて下さい。

④部品をセットした本体を柱にセットし、門扉をカイモノにのせ柱のレベル、本体の水平、垂直、錠のかかり具合をチェックしてコンクリートを流し込み、よく突き固めて下さい。

⑤コンクリートが硬化するまで、そえ木をして動かさないで下さい。

2. 勝手変更

勝手変更

錠本体は、右勝手内開き用になっています。扉の勝手が、右勝手内開き以外の場合には、下記の勝手変更方法に従って、錠本体、ハンドル座の勝手を変更して下さい。

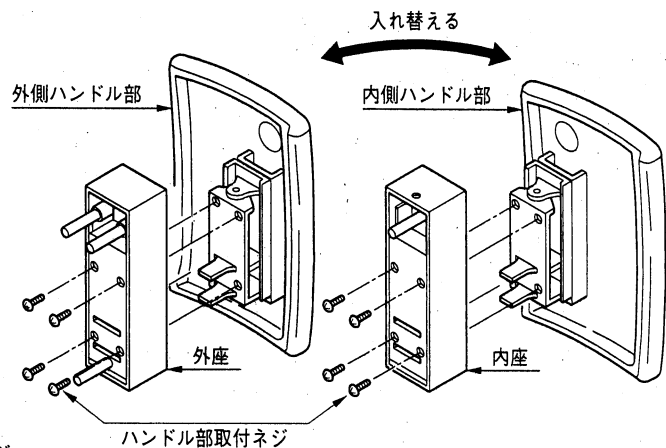
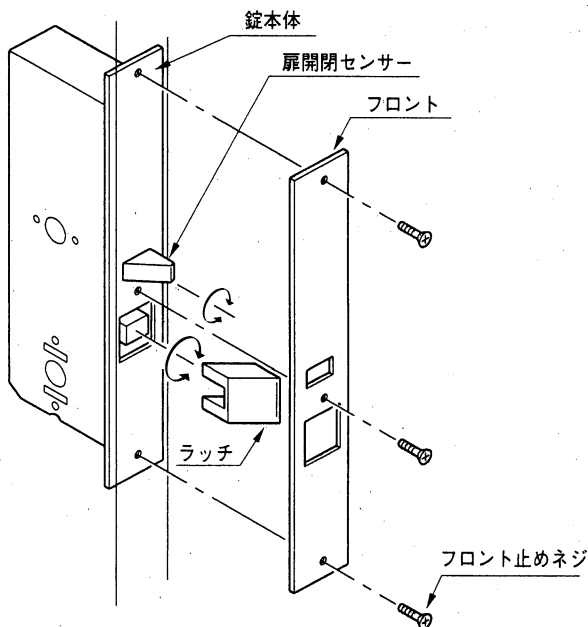
A. 錠本体の勝手変更方法

- 1) フロント止めネジ (M4×8⊕サラ) をゆるめ、フロントをはずして下さい。(ラッチを落とさない様に注意して下さい。)
- 2) ラッチを抜き取り、開きを変えて差し込んで下さい。
- 3) 扉開閉センサーは回して向きを変えて下さい。
- 4) 再び、フロントを取付けて下さい。

B. ハンドル座の勝手変更方法

- 1) 外ハンドル座、内ハンドル座共、ハンドル取付ネジ (M4×8⊕サラ) 4本をゆるめ、ハンドル部を取り外して下さい。
- 2) 外側のハンドル部を内座に、内側のハンドル部を外座に取付けて下さい。

注) 固定ハンドル座も同様に内、外のハンドル部を入れ替えて下さい。

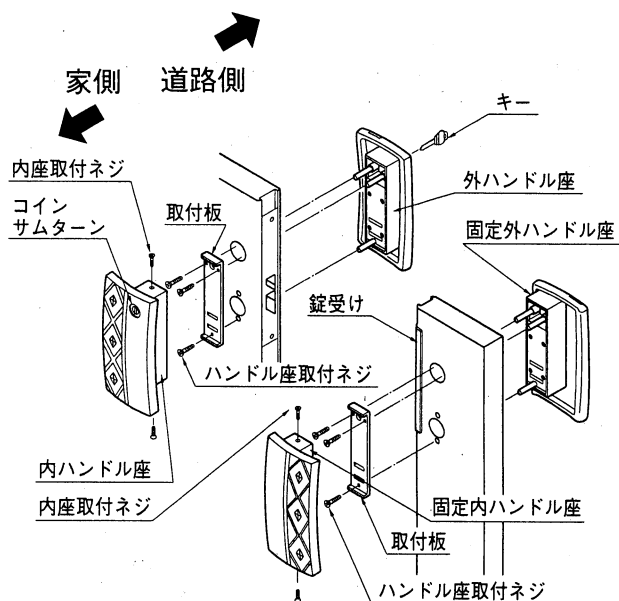


勝手変更方法

下の表に従って、勝手を変更して下さい。

扉の勝手 (図は扉を上から見た図です)	勝手変更
右勝手内開き 	勝手変更不要。 そのまま取付けて下さい。
左勝手内開き 	右記 A、B に従って、錠本体 及び、ハンドル座の勝手を 変更して下さい。

3. 錠の取付け



外ハンドル座取付け

扉外側から外ハンドル座を差し込み、扉内側から、取付板をあてハンドル座取付ネジ (M4×25⊕サラ) 3本を締めつけて下さい。

注) キーを抜いた状態で取付けて下さい。

内ハンドル座取付け

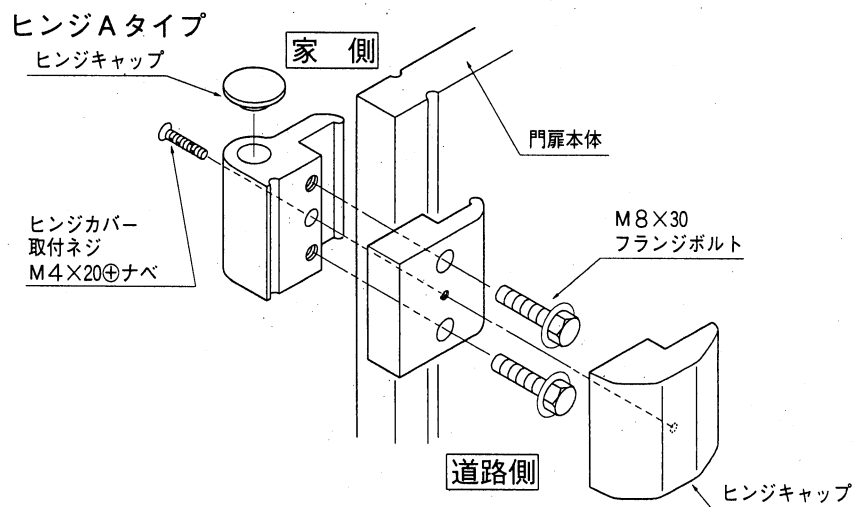
内ハンドル座のコインサムターンの溝が、解錠時、横向きになる様差し込み、内座取付ネジ (M4×8⊕サラ) 2本で上、下2ヶ所締めつけて下さい。

固定ハンドル座取付け [両開きセットの場合のみ]

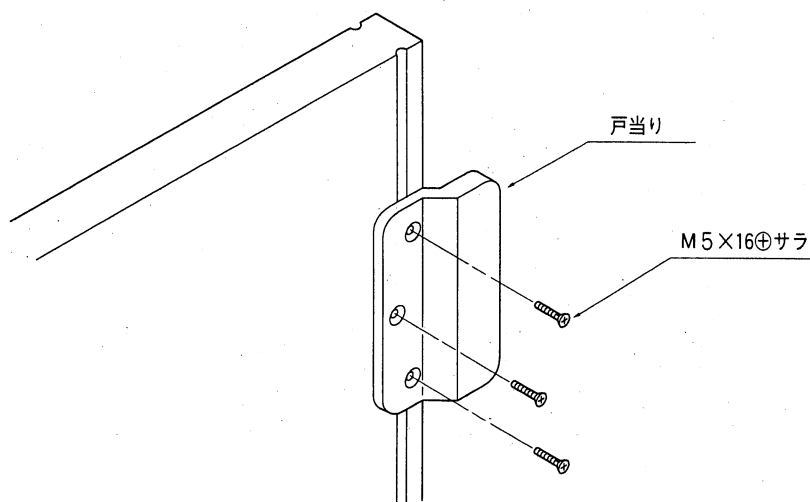
扉外側から固定ハンドル座を差し込み、扉内側から取付板をあてハンドル座取付ネジ (M4×25⊕サラ) 3本を締めつけて下さい。

次に、固定内ハンドル座を内座取付ネジ (M4×8⊕サラ) 2本で上、下2ヶ所締めつけ取付けて下さい。

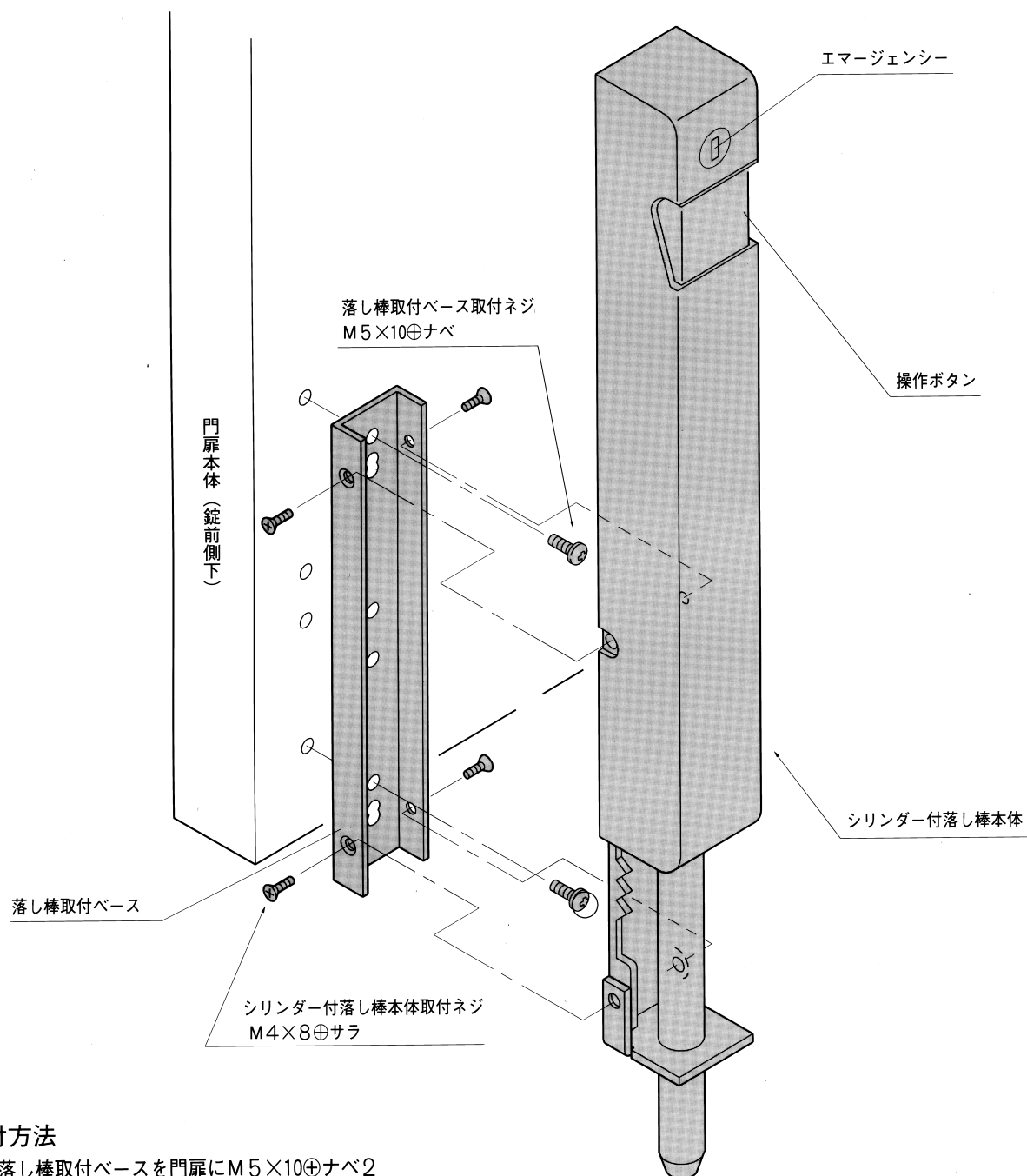
4. ヒンジの取付け



5. 戸当りの取付け



6. 落とし棒の取付け

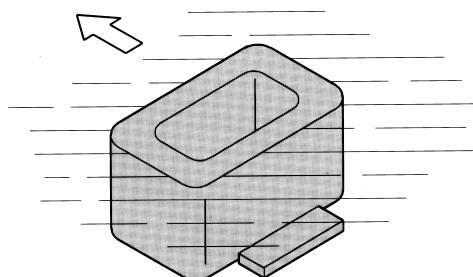


取付方法

1. 落とし棒取付ベースを門扉にM5×10⊕ナベ2本で取付けて下さい。
注) 落とし棒取付ベース下面と門扉下面とが同じ位置になる様、取付けて下さい。
2. シリンダー落とし棒本体を、落とし棒取付ベースにあてがいM4×8⊕サラで取付けて下さい。

スライド方法

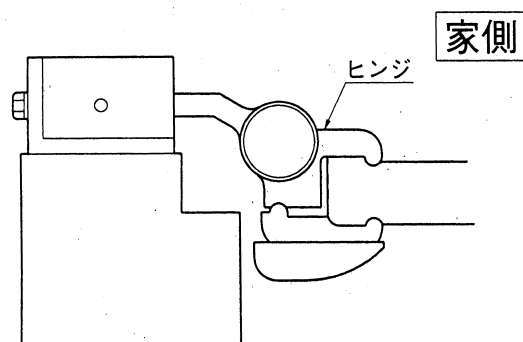
落とし棒本体をスライドさせる時は、操作ボタンを押して操作して下さい。



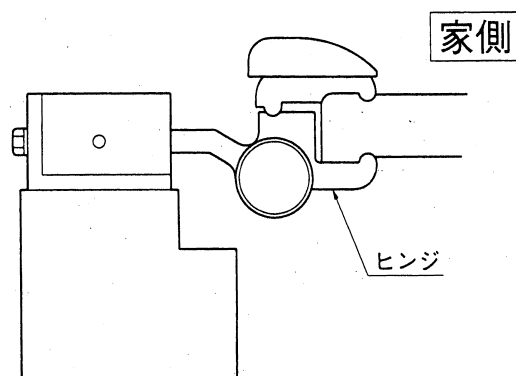
7. 内開き・外開き

ヒンジAタイプ

〔内開き〕



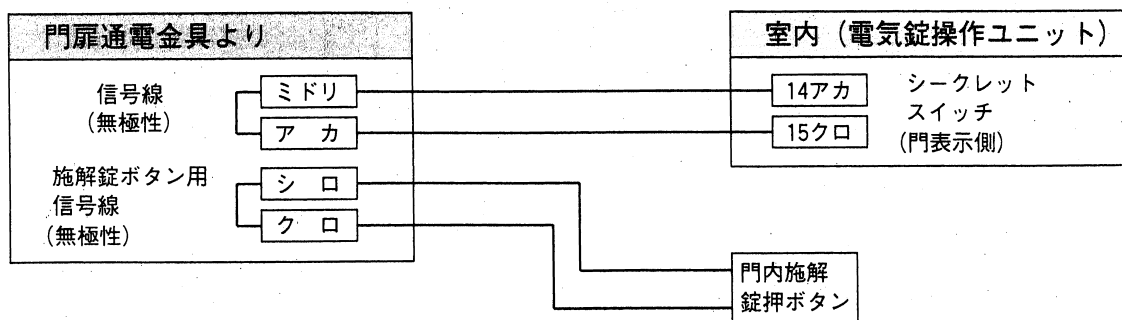
〔外開き〕



ここから先は、電気工事店様が行って下さい。

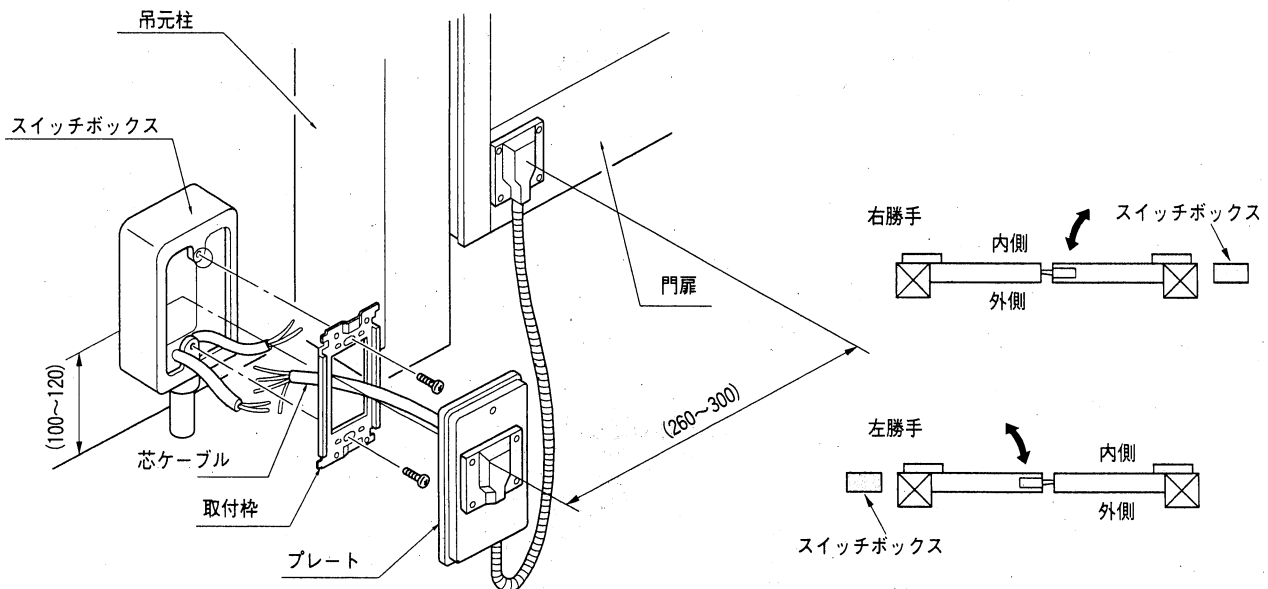
8. 電気錠システム取付及び接続方法

①配線方法



※電気錠操作ユニット、室内機の取付け、接続方法等
室内機の取付説明書を必ずごらん下さい。

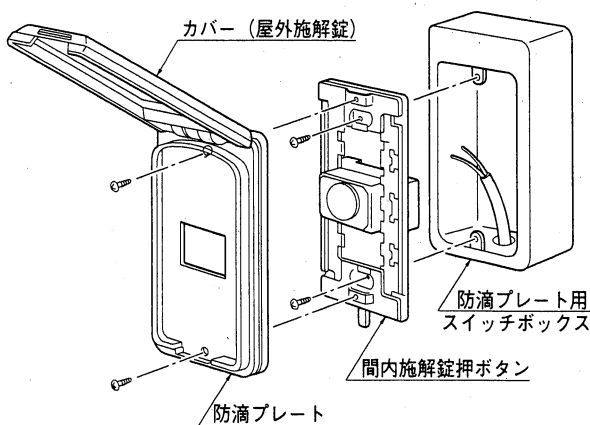
②スイッチボックス施工位置



※上図は右勝手側図です。

屋外施錠スイッチの取付方法

取付位置はG.Lより約1400mmにして下さい。取付場所は、門の内側の操作しやすい場所に必ず取付けて下さい。



配線距離

配線間	使用電線	0.5mm ² または0.8mm	0.75mm ² または1mm
操作ユニット～ シークレットスイッチ		50m 以内	50m 以内
シークレットスイッチ～ 門内側施錠ボタン		50m 以内	50m 以内

施工上のご注意

1. 落雷時の器具破損や、誤動作を防止するために、家屋から通電金具までの配線は架空配線をしないで地中配線をして下さい。
2. 門内施錠押ボタン及び家屋から通電金具（4芯）までの配線及び、増設する施錠スイッチへの配線は100V及び200Vの配線と、接近して平行または交差させないで下さい。（平行させる場合には、50cm以上離して下さい。）また、埋込配線の部分は100V及び200V電源とは別配管にして下さい。
3. 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことがない場所を選んで下さい。
4. 配管距離が長い場合、また、曲がり角が2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けて下さい。
5. ハンドホール内で電線の接続は行わないで下さい。
6. 配管内に水が侵入しない様に、パテなどでふさいで下さい。



工事店様へ

- 結線は必ず電気工事店様が行って下さい。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取って下さい。
硬化後、拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し願います。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取って下さい。
また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取って下さい。

取説コード

A091

IB-B①
199903E